

- ▼今回の表紙写真は“ふきのとう”をショットしてみました。
- ▼この“ふきのとう”、雪解け日、廃墟跡のブロックの隙間から頭をもたげていました。
- ▼しばらく眺めながら、力強さを感じ、エネルギーをもらうことが出来ました。
- ▼何事も『くよくよするな』と……。
- ▼これは、キク科フキ属の多年草。日本原産の山菜・野菜だそうで、寒さに耐えるように、ツボミを何重にも苞(ほう)が取り巻いています。
- ▼「ふきのとう味噌」や「天ぷら」にして食すと独特の風味に食欲をそそられます。
- ▼大好物な人も多いことでしょう。
- ▼ちなみに撮影者は、この時期を大変楽しみにしている一人です。
- ▼あの苦みが、心地よくもあります。
- ▼“ふきのとう”は日本の野菜ですが、中国では根茎を薬用として用いられているそうです。



contents

- ② 特集 平成二十六年度の出来事を振り返って
- ⑥ 会議だより
- ⑫ 地域コミュニティ
- ⑬ 研修だより
- ⑭ ミルクパーラー
- ⑰ 公庫からのお知らせ
- ⑱ 森税理士の「ちよつと気になる税務のはなし」
- ⑳ 技術情報
- ㉕ 窓シリーズ
- ㉖ 酪農テレックス

平成二十六年度の出来事を振り返って

〜みわTMRセンターの稼働から一年〜

全国的に酪農業を取り巻く環境は、未だアベノミクス旋風を感じるには至らず、酪農家の仲間の相次ぐ廃業から生乳生産基盤の脆弱化を痛感する一年となりました。

広酪においても、酪農家戸数の

減少は例外では無く、長年に亘り切磋琢磨し頑張ってきた仲間が減少する昨今に「不思議な脱力感に浸る思いだ」などのため息混じりの声も届きます。

廃業理由には、病気や年齢、後

継者不足、生乳生産コスト上昇による経営難によるものと様々であります。乳価引き上げに向けての行動と平成二十六年四月から本格的製造を開始したみわTMRセンターの機能を活かした『安くて

良いエサ』の供給を通じて、組合員の負託に応えるべくたゆまぬ努力を重ねています。

平成二十六年度も後数日で終演を迎えますが、同年度に起きましたデキゴトを振り返ると、次頁の年表の内容が思い起こされますが、この内、みわTMRセンターでの本格的な飼料製造開始からの現況と飼料稲(WCS)の平成二十七年の見通しに焦点をあてて振り返ることにします。

良いエサ』の供給を通じて、組合員の負託に応えるべくたゆまぬ努力を重ねています。



一. 平成 26 年度広酪に及ぶ主なデキゴト年表

年 月	デキゴト
平成 26 年 4 月 1 日	新みわTMRセンター本格的な操業開始
平成 26 年 5 月 17 日	TPP 交渉における国会決議の実現を求め県民集会に参加
平成 26 年 5 月 24 日	集落営農法人に委託した TMR 飼料原料の飼料稲 (WCS) の作付け始まる (品種:たちあやか・たちすずか)
平成 26 年 5 月 31 日	庄原 TMR センター飼料製造機能を新みわ TMR センターに統合
平成 26 年 6 月 9 日	Milk ● JAPAN 湯崎知事、下崎教育長訪問 県産牛乳 PR
平成 26 年 7 月 3 日	中国生乳販連 平成 26 年度生乳取引価格引き上げ改定要請額(全用途換算 5 円/kg)を決定し、乳業者との交渉に入る
平成 26 年 8 月 19 日	広島市を襲った豪雨災害 広酪西部事業所管内の集乳業務受託業者に麻痺 広酪による緊急対応 “1 滴の生乳も無駄にしない” 決意で集乳と受乳にあたる
平成 26 年 9 月 25 日	集落営農法人に委託した TMR 飼料原料の飼料稲 (WCS) の刈り取り始まる 収穫量反別当たり 12~13 ロール(300 kg/ロール)
平成 26 年 10 月 19 日	Milk ● JAPAN inひろしまを和田牧場(庄原市)で開催。広島市他から 140 名が参加。五感で搾乳など体験
平成 26 年 11 月 28 日	広酪創立 20 周年記念式典・記念講演を開催 78 名が出席
平成 26 年 12 月 26 日	中国生乳販連 平成 26 年度乳価交渉妥結 (全用途 5 円/kgの要求に対して、飲用用途、発酵用途 3 円/kgで)

二・新みわTMRセンター操業

開始から現状の状況

新みわTMRセンターでのTMR飼料製造開始は、従来の製造手法が変わる中で、製造スタッフは、関係業者からの基盤操作など手ほどきを受けながら、不安を抱える中での操業となったことは否めない事実でありました。

製造製品の供給荷姿は、トランスバッグ方式(二百五十kg)から圧縮梱包ラップ巻き上げ密封方式(五百kg)にと



変わり、製造飼料に使用する穀類は、単味飼料の混合を改めて、予め飼料工場にて切り落とし手法により製造された基礎配(配合飼料)を使用し、かつ、

十一月二十八日からは、集落営農組織などに作付けを求め調達した飼料稲WCSの使用を開始しました。

操業開始から約六カ月間において、TMR飼料の利用者の中からは「梱包開封後の給餌作業が重労働であり大変難儀だ」、「ラップ梱包包装に裂傷があり、カビが認められる、質が悪い」、「嗜好性が悪い」、「乳量が出ない、乳脂肪率が悪化した」、「異物混入が認められた」等々の指摘が相次ぎました。

これら問題を解決するため、利用者による意見交換会の開催とともに指摘のあった各々の問題を改善するための対策を講じて来ました。ラップ梱包包装の裂傷・劣化防止には、フォークリフトで運搬移動する際の、挟み込み版の位置修正や、ラップ包装巻き数の改善とともに、嗜好性や乳量・乳成分低下防止としては、飼料分析や牧草の裁断長、攪拌時間の再点検を行い、様々な角度から積極的に改善にあたり、かつ、平成二十六年十二月からは広酪の

■みわTMRセンター操業から主な対応などの状況

年月日	内 容
平成26年3月28日	みわTMRセンター竣工式
平成26年3月30日	新みわTMRセンターにて製造開始
平成26年4月17日	新製品の供給開始
平成26年6月9日	処方変更のメニュー製造開始
平成26年7月9日	基礎配合変更にて製造開始
平成26年9月24日	第1回TMR利用組合員意見交換会
平成26年11月28日	WCS入りTMR製造開始(中泌乳TMR)
平成26年12月2日	WCS入りTMR製造開始(高泌乳TMR)
平成26年12月22日	WCS入りTMR供給開始
平成26年12月22日～1月6日	WCS入りTMR試験給与開始
平成27年1月30日	第2回TMR利用組合員意見交換会

専門指導スタッフが個別に利用者を訪問し、その実状把握に努めるよう力を傾注しております。

飼料稲WCSを使用したTMR飼料の供給となった現況では、「嗜好性が良い」、「乳量が伸びた」、「乳成分も安定した」、「給餌作業が楽になった」との評価を得るようになりました。

操業開始からまもなく満一年を迎えようとしておりますが、一年間を通じて品質が安定し、かつ低廉な価格で利用者からより一層、満足度が向上するよう利用者に寄り添ったフォローアップにあたることとしております。

三・平成二十六年年度の飼料稲(WCS)の調達行動と平成二十七年年度の調達見込み

平成二十六年年度産の飼料稲(WCS)調達に向けては、主に平成二十五年度下期から広島県の指導、広島県農業再生協議会、集落法人等に対して、飼料稲(WCS)作付けにあたっては、広酪が責任をもって収穫し、買い取ることの方針を発信し、かつ、既存の作付け団体の流通を妨げないことも約束

し、純粋に作付け増産分を買い入れるよう行動にあたり、このもとで、平成二十六年年度の調達にあたりました。

この結果、平成二十七年度の調達目標九千ロールに対して、一万二千九百三十六ロールの調達見込みに至りました。

一ロール当たりの重量は、約二百九十五kgとして総調達重量三千八百八・八トと前年度実績に対して三百二十六・三%の見込みとなっております。

これら、飼料稲(WCS)の作付け面積拡大は、米の概算金の引き下げや、国による米政策にかかる補助金の減額が影響しております。

平成二十六年年度に飼料稲(WCS)の作付けを請け負ってもらったある農事組合法人では、飼料稲(WCS)の販売収入に国の水田活用の直接支払い交付金(戦略作物助成へWCS用稲に八万円、担い手加算七千五百円)を受け、諸経費を支払った結果、十ヶ当たり三万三千三百八十一円の差引利益が生じたとの情報も届きました。

同法人では、コメ(コシヒカリ)を作付けしたと仮定しての試算も

行われ、この場合だと十ヶ当たり一万七千三百二十九円の赤字になっていたと話されるとともに、飼料稲(WCS)栽培に取り組んで良かったと喜んでおられました。

同法人では、

平成二十七年
度
においては、管
理する総ての水
田に飼料稲(WC

S)を栽培し販売すると約束が得られました。

広酪では、既に栽培面積に及ぶ平成二十七年年度の飼料稲(WCS)の種子「たちすずか」の調達を終えたところであります。

良い天候に支えられて順風満帆な飼料稲(WCS)の作付けと収穫を終え、TMR飼料利用者の負託に応えられることを願っております。

■飼料稲(WCS)の調達実績と見込み

年 度	平成 2 6 年度実績	平成 2 7 年度計画	対 比
調達目標	6,000.0ロール	9,000.0ロール	150.0%
作付け面積(見込み)	17.4 ^{ヘク} ター	(90.0 ^{ヘク} ター)	517.2%
収穫実績(見込み)	3,964.0ロール	(12,936.0ロール)	326.3%
収穫量(見込み)	1,189.2 ^ト	(3,808.8 ^ト)	320.3%

